



認知症サポーターキャラバン

「認知症サポーター」とは？



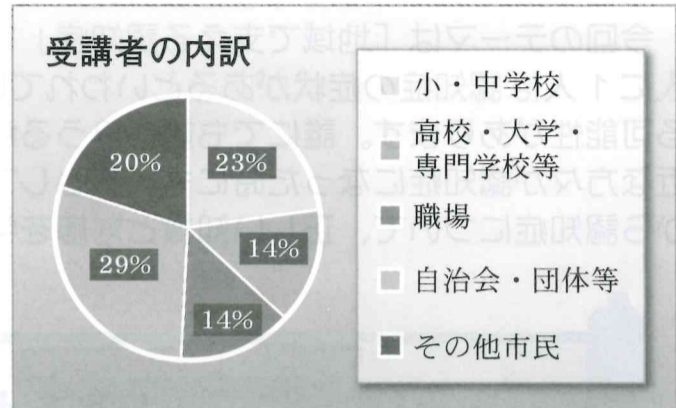
認知症サポーターは、認知症について正しく理解し、認知症の方や家族を温かく見守る応援者のことです。2005年から全国で取り組みが開始されました。流山市でも2016年度9,000人を突破しました！

認知症サポーターは、「なにか特別なこと」をやる人ではありません。自分のできる範囲で認知症の方や家族の気持ちを理解するよう努めることもサポーターにできる支援のひとつです。

その他に、商店・交通機関・職場等で、できる範囲で手助けをするなど、かかわり方は様々です。



←このシールがあるところは、認知症サポーター養成講座を受けた方が常駐しているという目印です。認知症サポーター養成講座を受けた方が常駐している団体やお店には、このシールを差し上げています。安心できるまちづくりに、あなたのお店もご協力いただけませんか。



職場や仲間でも認知症サポーター養成講座を受けたいときは？

5人程度集まれば、こちらから出向いて開催いたします。自治会で！趣味のサークルで！ママ友グループで！部活で！職場の仲間でも！お気軽にお声掛けください！！お住まいの地域の高齢者なんでも相談室*（地域包括支援センター）にご連絡ください。

認知症サポーター活動で、サポーターの樹を育てよう!!

認知症サポーター養成講座を受けた方にスマイルカードをお渡ししています。

サポーター活動をした方はスマイルカードに活動内容をお書きになり、高齢者なんでも相談室（地域包括支援センター）にご提出ください。

身近な支援を日々積み重ねていくことで、認知症でも安心して暮らすことができるまちづくりを目指しています。

スマイルカードは9月に開催する「認知症を知る月間」のイベントで展示します。

公共交通機関の運転手さん

乗り方がわからなかったり、行き先がわからなくて不安がっている方がいたら、積極的に声をかけるように心がけています。

住んでいる地域で

認知症の方のご家族に、「なにかあったらお手伝いしますからね」と声をかけるようにしています。

お店の店員さん

1日に同じものを何度も買いに来るお客さんがいて、心配なので、高齢者なんでも相談室に連絡をしました。

スーパーのレジで

お金の出し入れに時間がかかっている方がいた場合は、ペースに合わせて声掛けをしています。

小学生

道に迷っていたおばあさんに声をかけて家まで送ってあげたよ。

(サポーター活動の例)

認知症の方は困った人ではありません。困っている人です。優しくお声をかけてください。

※流山市内の高齢者なんでも相談室（地域包括支援センター）

	北部高齢者なんでも相談室 (地域包括支援センター)	中部高齢者なんでも相談室 (地域包括支援センター)	東部高齢者なんでも相談室 (地域包括支援センター)	南部高齢者なんでも相談室 (地域包括支援センター)
電話	04-7155-5366	04-7150-2953	04-7148-5665	04-7159-9981
FAX	04-7154-3207	04-7158-8419	04-7141-2280	04-7178-8555